中期の下水道政策のあり方及び具体的な施策 - 公共用水域の水質の改善 -

- 公共用水域の水質の改善 -

(高度処理等の推進)

論点1 どのような水域について、水質改善を重点的に取り組むべきか

< 国としての見地から優先して進めるべき水域 >

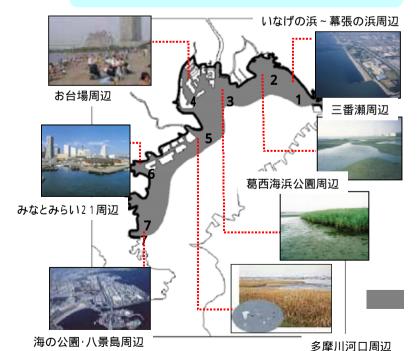
「21世紀の新しい都市創造」に向けたリーディングプロジェクトとして都市再生プロジェクトが選定され、行動計画 に沿った取り組みが進められている

「東京湾再生」、「大阪湾再生」、「琵琶湖・淀川の再生」などが都市再生プロジェクトとして選定されている



「東京湾再生プロジェクト」など国家的プロジェクトとして、関係省庁及び自治体等が連携を図りながら、環境改善の取り組みをおこなっている水域で、下水道整備による効果が大きい水域において、水質改善を重点的に推進すべき

東京湾再生プロジェクトで掲げる再生を目指す 重点エリアとアピールポイント



大阪湾再生プロジェクトで掲げる再生を目指す 重点エリアとアピールポイント



- 公共用水域の水質の改善・

(高度処理等の推進)

論点1 どのような水域について、水質改善を重点的に取り組むべきか

< 国としての見地から優先して進めるべき水域 >

東京湾の高度処理導入による水質改善便益は約1,115億円/年と算定されており、その改善による効果は 広域的な範囲に及ぶ

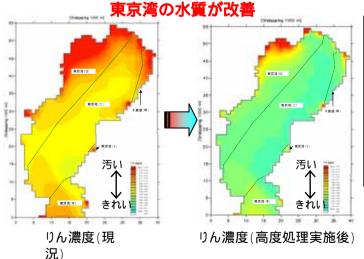
多大な経済的価値や貴重な生態系を有する有明海の環境変化は、沿岸地域の社会・経済に密接に関係)「東京湾流域における高度処理導入による便益の調査検討に関する共同研究(平成13年3月)」(東京湾水環境調査会)

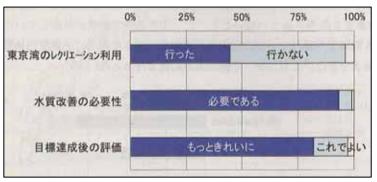
三大湾や有明海など広域にわたる水域で、その水質改善効果が水域周辺部のみならず広域的に及ぶ水域で、 下水道整備による効果が大きい水域において、水質改善を重点的に推進すべき

高度処理の推進による負荷削減効果

東京湾流域の住民の行動と意識

有明海におけるノリの収穫状況





- ・「過去1年間にレクレーション目的であなたのご家族は東京湾に行きましたか」という質問では、過半数が行かないと答えている
- ・「東京湾の水質改善」については9割超が必要であると答えている
- ・「対策実施後(環境基準の達成)の姿についての評価」では約8割が もっときれいにしてほしいと答えている



- 公共用水域の水質の改善・

(高度処理等の推進)

論点1 どのような水域について、水質改善を重点的に取り組むべきか

< 国としての見地から優先して進めるべき水域 >

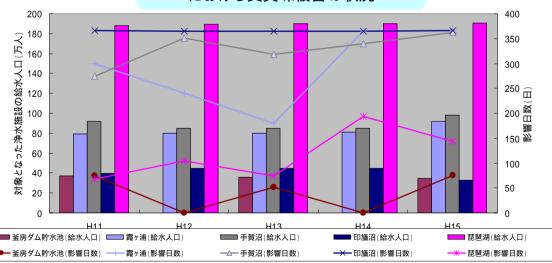
指定湖沼を水道水源とした水道の異臭味被害については、改善の傾向が見られない 下水道普及人口のうち、水道水源水域に関するものは約1,400万人。そのうち、高度処理を行っている処理 人口は約450万人(平成16年度末)

下水道整備計画区域のうち、平成16年度末で未整備区域のうち、水道水源水域に関するものは約650万人



国民に安全な水を供給するという公衆衛生上の視点から、水道水源水域で水道水に異臭味被害が発生するなど現に問題の発生している水域で、下水道整備による効果が大きい水域において、水質改善を重点的に推進すべき

指定湖沼を水道水源とする水道事業体 における異臭味被害の状況

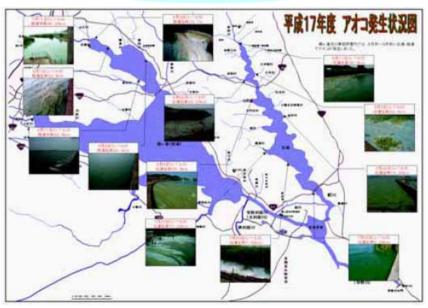


指定湖沼を水道原水としている浄水施設のうち、カビ臭等による異臭味被害を受け、通常の浄水方法の他に対応が必要となった

浄水施設から給水を受けている人口の合計及び影響日数

(注)手賀沼については、水道原水として沼から直接取水は行われていないが、直下流において取水を行っている 出典:中央環境審議会水環境部会、第3回湖沼環境保全専門委員会、資料 - 5、2004

アオコ発生状況(霞ヶ浦)



- 公共用水域の水質の改善・

(高度処理等の推進)

論点1 どのような水域について、水質改善を重点的に取り組むべきか

<国の立場から重点的に支援すべき水域等>

かつて汚濁の著しかった紫川において、下水道整備の概成により水質が飛躍的に改善し、四季折々のイベントが開催されるなど、周辺に活気が戻り都市ににぎわいが復活

繁華街を流れる道頓堀川は地域から背を向けられる存在となっているが、合流式下水道の改善が進められるとともに、川に面した遊歩道等の整備が進められている

地域の活性化を図るうえで、当該水域の水質を改善することによる効果が重要な位置づけになっている水域で下水道整備による効果が大きい水域もしくは再生水の積極的な活用が位置づけられている処理場について重点的に支援すべき



道頓堀川に背を向けたビル群 遊歩道『とんぼりウォーケ』の整備

- 公共用水域の水質の改善 -

(高度処理等の推進)

論点2 中長期的な観点から着実に水質改善を図るべき水域は、どのような水域とすべきか

水質環境基準の達成を目的とした流総計画に高度処理が位置づけられていても、普及が優先され高度処理 の導入されていない処理場が多数存在

湖沼などの閉鎖性水域の水質環境基準の達成率は横ばい

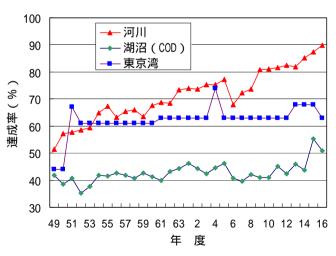
富栄養化の進行による赤潮の発生が頻発している水域が存在

下水道の普及や高度処理によって一部の閉鎖性水域では改善の兆しが見られる

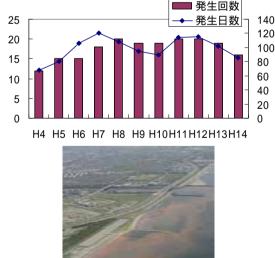


論点1に示す水域以外で、環境基準を達成するために流総計画に高度処理が位置づけられた水域

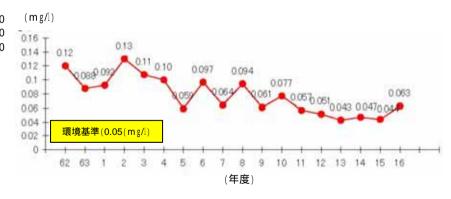
環境基準達成率



赤潮の発生状況(東京湾)



諏訪湖における水質改善(全リン)



諏訪湖における1987 年度 ~ 2004 年度(昭和62 年度 ~ 平成16 年度)までの、全リン濃度

(全リン)の年平均値の変動。平成16年度の数値は、その年の3~ 12月の値を平均した速報値

具体的施策

【施策重点エリアの選定】

改善効果が身近に市民が体感・実感できるようなエリアを選定する 普及はほぼ概成しているにもかかわらず、高度処理の普及が進んでいないため放流負荷量の大き な都市域において、高度処理を強力に推進する

【計画的な事業の推進】

流域内の複数市町村によるアクションプログラム(目標、施策、工程)を策定し、施策の重点化を図る国は、アクションプログラムに沿った各市町村の事業に対して優先的に支援する 増設や改築更新にあわせて高度処理化を図るなど、着実な事業の推進を図る

【施設の効率的な活用】

今後の人口減少に伴い処理能力に余裕の出る処理場においては、既存の施設を最大限に活用して高度処理を推進する

高度処理を自前で行うことが不経済となる場合など、高度処理共同負担事業等の活用も含め積極的に推進

【住民等との連携と目標設定】

まちづくりや住民等による環境活動と連動した計画を策定する

目標の設定にあたっては、流域住民が直接的な恩恵を体感・実感できるようなものとするとともに流域全体の共通認識とする

【危機管理対応】

下流域に健康障害が発生する公衆衛生上のリスク評価に基づき、リスクの高い水域及び処理場を特定し、ハード・ソフト両面にわたる対応策について緊急的に検討すべき